**久九本寺**

久本寺の起源は1488年、日蓮宗の僧侶で屋久島に法華経の教えを広めた日増上人の時代にさかのぼります。神道の山の神「山幸彦」の姿である一品法寿大権現を尊ぶ修行は、日増上人によるものです。日増上人自らの手によって奉じられたと信じられている曼荼羅は、現在も時折展示されています。境内の記念碑は、島津義久（1533年～1611年）の7回忌を記念して作られたもの。島津義久は、島津家16代当主として九州の統一で中心的な役割を果たしました。毎日鳴らされる梵鐘の音を聞くには、午後5時45分に参拝するとよいでしょう。

宮之浦集落のツアー予約は、yakushima.jpのサイトにアクセスしてください。また、屋久島環境文化村センターに直接お越しいただいても承ります。

〒891-4205　鹿児島県熊毛郡屋久島町宮之浦823番地1